

6 章 鋼製橋脚設置工

6.1 鋼製橋脚設置工

6章 鋼製橋脚設置工

6.1 鋼製橋脚設置工

1. 適用

陸上での鋼製橋脚設置工事に適用する。

2. 数量算出項目

鋼製橋脚の基数と架設鋼材質量、地組鋼材質量、現場溶接延長を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項 目	3次元モデル	属 性 情 報			
		規 格	単 位	数 量	備 考
アンカーフレーム架設	B	×	基		
アンカーフレームグラウト注入	B	○	m ³		
鋼製橋脚地組	B	×	t		
鋼製橋脚地組連結	B	×	箇所		
鋼製橋脚架設	B	×	t		
鋼製橋脚架設ブロック	B	×	ブ ^ロ ック		
鋼製橋脚	B	×	脚		
鋼製橋脚膨張モルタル注入	B	○	m ³		
鋼製橋脚無収縮モルタル注入	B	○	m ³		
現場溶接	B	×	m		平均板厚 t = mm
ビード仕上げ	B	×	m		
トルシアボルト	B	○	本		
足場	B	×	掛m ²		

3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

- (1) アンカーフレームモルタル注入量はアンカーフレーム1基ごとに算出する。
- (2) 鋼製橋脚膨張モルタル注入は総量を算出する。なお、脚毎の内訳も算出する。
- (3) 鋼製橋脚無収縮モルタル注入は総量を算出する。なお、脚毎の内訳も算出する。
- (4) 現場溶接はビード仕上げの有無に関わらず総延長を算出する。
- (5) ビード仕上げは必要な場合のみ算出するものとし、総延長を算出する。
- (6) 足場
足場は「第1編（共通編）1.1章仮設工1.1.4足場工」によるものとする。

1) 足場面積の算出は、下記のとおりとする。なお現場条件、橋脚の構造および施工方法等でこれによりがたい場合は、別途算出するものとする。

